

月日	支出 書 番号	摘 要	収入額	支払額	残額	費 目												
						研修会・ 会議費	資料購入及 び作成費	広報費	使用料及 び借上料	通信運搬費	旅費及び 交通費	事務雑費	会派共用費					
6	7	0001	政務活動費(5~6月)	140,000		140,000												
7	14	0002	政務活動費(7~9月)	210,000		350,000												
8	29	0003	視察旅費		22,460	327,540						22,460						
10	13	0004	政務活動費(10~12月)	210,000		537,540												
1	15	0005	政務活動費(1~3月)	210,000		747,540												
		0006				747,540												
		0007				747,540												
		0008				747,540												
		0009				747,540												
		0010				747,540												
		0011				747,540												
		0012				747,540												
		0013				747,540												
		0014				747,540												
		0015				747,540												
		0016				747,540												
		0017				747,540												
		0018				747,540												
		0019				747,540												
		0020				747,540												

預金利息	0
------	---

合 計	0	0	0	0	0	22,460	0	0	22,460
-----	---	---	---	---	---	--------	---	---	--------

日付: 2024年4月10日 議員名: 山崎 麻里子

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 3

会 派 名	大阪維新の会高槻市議会議員団	令和5年8月29日 発行
		令和5年度
議 員 名	山崎 麻里子	費 目 旅費及び交通費

下 記 の 金 額 を 支 出 す る 。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額		¥	2	2	4	6	0

ただし

視察旅費

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額 (上限額がある場合その額)
円

支払い額 按分率
円 × / = 円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名 (

(参考様式)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

支出書番号

3

領 収 書

山崎 麻里子 様

Receipt

領収年月日 2023.-8.-5

金額 ￥12,900 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(枚)

西日本旅客鉄道株式会社

高槻駅

高槻駅F2発行

20464-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

領収書

(RECEIPT COPY)

No. 68194

日付 2023年08月24日

山崎 麻里子

様

現金 7,790

カード 0

銀行振込 0

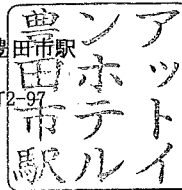
但し、ご宿泊代として

金額: ￥7,790-

Amount

上記金額を正に領収いたしました。

アットインホテル 豊田市駅
〒471-0027
愛知県豊田市喜多町2-97
TEL 0565-47-2002
FAX 0565-47-2001



印紙

様式第11号 (その1)

出張実施簿 (管外)

令和5年8月29日

高槻市議会議長 様

議員名 山崎 麻里子



下記のとおり出張したので報告します。

出張の期間	令和5年8月24日(木)～令和5年8月25日(金)		
出張先	名古屋市・豊田市		
出張の目的	研修会・会議 <input checked="" type="radio"/> 視察 調査 <input type="radio"/> その他 () *いずれかに○を付けてください。また、その他の場合は、その内容を記入してください。		
旅費額	交通費	宿泊料	合計額
	14670 円	7790 円	22460 円
参加費等その他必要な経費	0 円		
費用総額	22460 円		

* 参考となる書類があれば、添付して下さい。

(1) 1日目 高槻 → 名古屋 (JR 6350円)

2023/08/24(木) 検索日が過去です
10:31発 → 11:28着 総額 6,350円

所要時間 57分 乗車時間 47分 乗換 1回 距離 169.2km

Myルート Myポイント 印刷 テキスト Googleカレンダー Yahooカレンダー

経路		乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
時刻表	路線図	地図			
					グルメ
10:31-10:44 13分	JR JR京都線新快速(湖西線経由 敦賀行)	前後列車	前・後	3,080円	21.6km
乗換9分 待ち1分			2番線着 12番線発		
					時刻表 構内図 路線図 地図 クーポン グルメ
10:54-11:28 34分	新 新幹線 のぞみ120号(N700系) (東京行)	前後列車	↓	指定席 3,270円	147.6km
					指定席 3,270円 147.6km
					構内図 路線図 地図 クーポン グルメ
			15番線着		

(2) 1日目 名古屋 → 久屋大通 (地下鉄 210円)

13:04発 → 13:09着 総額 210円

所要時間 5分 乗車時間 5分 乗換 0回 距離 2.4km

Myルート Myポイント 印刷 テキスト Googleカレンダー Yahooカレンダー

経路		乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
時刻表	構内図	路線図	地図		
					クーポン グルメ
13:04-13:09 5分	地下鉄 名古屋地下鉄桜通線(徳重行)	前後列車		210円	2.4km
					路線図 地図 クーポン グルメ
			3番線着		

(3) 1日目 久屋大通 → 豊田市 (地下鉄・名鉄 計780円)

16:03発 → 16:58着 総額 780円

所要時間 55分 乗車時間 46分 乗換 1回 距離 30.0km

Myルート Myポイント 印刷 テキスト Googleカレンダー Yahooカレンダー

経路		乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
時刻表	路線図	地図			
					クーポン グルメ
16:03-16:08 5分	地下鉄 名古屋地下鉄名城線左回り (名古屋港行)	前後列車	前	310円	1.8km
乗換2分 待ち5分			1番線着 3番線発		
					時刻表 路線図 地図 クーポン グルメ
16:15-16:36 21分	地下鉄 名古屋地下鉄鶴舞線(豊田 市行)	前後列車	↓		11.6km
停車2分	赤池(愛知) <<降車不要>>				
					時刻表 路線図 地図 グルメ
16:38-16:58 20分	私 名鉄豊田線(豊田市行)	前後列車		470円	16.6km
					路線図 地図 グルメ

(4) 2日目 豊田市 → 名古屋 (名鉄・地下鉄 計780円)

13:08発 → 14:04着 総額 780円

所要時間 56分 乗車時間 49分 乗換 1回 距離 31.4km

Myルート Myポイント

印刷 テキスト Googleカレンダー Yahooカレンダー

経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
豊田市	(当駅始発)			
13:08-13:29 21分	豊私 名鉄豊田線(上小田井行)	前後列車	やや前 470円	16.6km
停車1分	赤池(愛知) <<降車不要>>			
13:30-13:54 24分	豊地 名古屋地下鉄鶴舞線(上小田井行)	前後列車	310円	13.4km
乗換2分 待ち4分	伏見(愛知)	4番線着 2番線発		
14:00-14:04 4分	豊地 名古屋地下鉄東山線(高畑行)	前後列車	↓	1.4km
名古屋	2番線着			

(5) 2日目 名古屋 → 高槻 (JR 6550円)

2023/08/25(金) **検索日が過去です**

14:58発 → 15:57着 総額 6,550円

所要時間 59分 乗車時間 46分 乗換 1回 距離 169.2km

Myルート Myポイント

印刷 テキスト Googleカレンダー Yahooカレンダー

経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
名古屋	17番線発			
14:58-15:32 34分	新 新幹線 のぞみ375号(N700系) (新大阪行)	前後列車	5・8・12号車 3,080円	147.6km
乗換8分 待ち5分	京都	14番線着 5番線発	指定席 3,470円 ①運賃・料金のご注意	
15:45-15:57 12分	JR JR京都線新快速(米原經由姫路行)	前後列車	↓	21.6km
高槻				

参考様式

政務活動実施報告書

令和5年8月29日

(宛先)高槻市議会議長

議員名 山崎 麻里子



(又は会派名及び代表者名)

下記のとおり実施したので報告します。

実施日時	令和5年8月24日(木)～令和5年8月25日(金) 時 分 ～ 時 分
実施場所	名古屋市・豊田市
目的	<input type="checkbox"/> 研修会・会議(参加者 人) <input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> その他() *いずれかにチェックを付けてください。また、「その他」の場合は、その内容を記入してください。
活動の概要	別紙

*参考となる書類があれば、添付して下さい。

視察概要<<名古屋市教委>>

■日時 8/24(木)14:00~15:30

■場所 名古屋市教育館 名古屋市東区泉1丁目1-4

■テーマ 名古屋市教育委員会の教育改革「ナゴヤ・スクール・イノベーション」

(参考)

(ナゴヤスクールイノベーション)<https://nagoyaschoolinnovation.city.nagoya.jp/about>

(マッチングプロジェクト)<https://nagoyaschoolinnovation.city.nagoya.jp/matching/>

(山吹小)<https://nagoyaschoolinnovation.city.nagoya.jp/school/yamabuki>



■質問項目 : 教育委員会(山吹小学校元職員の方含む)からお話を伺う

★ナゴヤ・スクール・イノベーション事業について

*コンセプトと進め方について(個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、授業改善・環境整備・広報啓発の一体的推進)

*効果について(落ちこぼれ・浮きこぼれ・不登校に対して、その他)

*マッチングプロジェクト(官民連携)の概要と取り組みの例

・山吹小学校(イエナプランのコンセプトを導入)

・山吹小学校以外の取り組み例

*「みんな違う」を前提に学びを考えることについて

★山吹小学校における実践内容について

*新たな取り組み導入の過程

*山吹アドベンチャープログラム(YAP)について(学級会との違い)

*山吹セレクトタイム(YST)について…取り組み内容、指導体制など

・自分で計画を立てる難しさ(サポートが難しそう)

・授業の進め方、児童の様子(教室内で多様な教科、作業が混在してもうまく進められる?)

・インストラクションやルーブリックの実例など

*ふれあい活動(異学年グループでの探求活動)

・事例・エピソードなど

*山吹小学校には、支援学級や通級がないとのこと…支援が必要な児童への対応について

*独自の工夫(ハード、ソフト)

*教員の負担増について

*効果について(どんな力が伸びたか)

《主な質問項目・豊田市防災対策課》

■日時 8/25(金)10:00~12:00

■場所 豊田市 災害対策本部室ほか

■テーマ 災害時車中泊避難の先進的取り組みとその課題について

■質問項目

Q1:車中泊避難に関する豊田市の考え方と実際の取組について。また、市地域防災計画での位置づけについて。

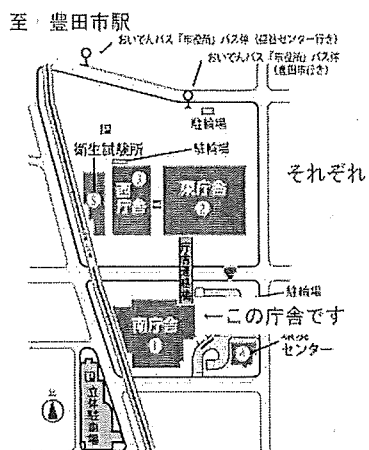
Q2:車中泊避難に対する市民の反応について

Q3:車中泊避難の場所確保について。関連して、学校運動場の活用とその課題は？

Q4:車中泊避難を推進するにあたり、その課題と解決法について

Q5:車中泊避難を推進するにあたり、トヨタ自動車様との関係性について

Q6:車中泊避難の今後について



以上

〈豊田市防災対策課〉

◎災害時車中泊避難の先進的取り組みとその課題について

豊田市は日本最大手の自動車メーカーであるトヨタ自動車株式会社の本社があるということもあり、全国的に車中泊避難を推奨している自治体が少ない中、先駆けて車中泊避難ハンドブックを作成するなど市民に広く周知に踏み切っておられました。

発災時の在宅、地域の避難所での避難方法に加え、車中泊という選択肢が増えることでいつ起こるか分からない災害に対して備えと知識が増えるということに繋がります。本市も車を移動手段として使う方が多くいます。また、進む高齢化により、歩行困難者など一人で逃げられない人が増え続けることが予想されることから、車中泊避難の先進的取り組みは大変勉強になりました。やはり一言で車中泊避難と言っても様々なリスクもあり、まずはその啓発からしていかなければならないのですが、正しい知識の周知と環境整備を自治体が行うことの先々の必要性を強く感じました。

また、昨今のキャンプブームと併せて民間企業と連動して日頃から発災時に使えるキャンプグッズに慣れ親しむ仕掛けが役所内に設置するなど、車中泊避難の実践訓練も積極的に行われており、市民の防災意識を平時から自然に楽しく高めていくことにも注力されていました。豊田市でも様々な意見や課題があったと伺いましたが、本市でも今後の選択肢の一つとして検討していただけたらと思います。



〈名古屋市教育委員会〉

◎ナゴヤ・スクール・イノベーション

「教育改善の推進」「環境整備」「広報・啓発」の観点から一体的に推進している名古屋市の教育改革について学んできました。その中でも核として進めている“ナゴヤ学びのコンパス”について、主に山吹小学校の取り組みをお伺いしました。

児童自らが時間割や学ぶ場所を選択するなど興味・関心や進度に応じて独自の学習計画を立てる取り組みは革新的で驚きました。また、異年齢で学ぶ機会やサークル対話の時間を設けることで互いの個性や色々な立場を理解する機会となっており、幅広い視点と価値観を持つことに繋がっていると思いました。

そして、このような取り組みを入れることは生徒だけでなく教職員の役割や在り方も変わってくるのではないかと思います。生徒が自ら学びたいと思える環境整備やきっかけづくりをした上で実践においては見守りの時間が増えるので、生徒の個性や進度を細かく観察することができ、一人ひとりに合った適切な指導や支援にあたることができます。

近年急速に進んでいるグローバル化や少子高齢化、ICT化など現代と未来を生きる子供たちに、自ら学び、課題を見つけ、その課題解決に向けて更に学ぶ、そして多様な学び方や価値観を育めるようになっており、ダイバーシティ推進の観点からもインクルーシブ教育の代表となる画期的な取り組みだと思いました。

名古屋市では2019年より学びの改革に取り組む7つのプロジェクトとして、実践校を設け少しずつ市内に広げていっていますが、このような改革を進めるにあたり名古屋市も相当な議論と葛藤があったと伺いました。教育改革を進めるというのは容易ではないと思いますが、本市も教育・子育てのトップランナーとして、名古屋市の取り組みを部分的に取り入れて検証を進めるなどは検討価値があるのではないかと思います。これまでの歴史ある教育を重んじながらも時代の流れと未来を見据えた新しい取り組みへの革新的な参考事例の学びの機会となりました。

